

山北営農だより

令和4年5月
TEL: 75-0004



JAがわかぬち農研センター
西湘きんじつりゅう

— 【う め】 *下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。 —

病害虫防除 農薬の収穫前日数を遵守しましょう。

5月上旬

- カイガラムシ類 アプロードエースフロアブル 1,000倍 収穫7日前 2回 100ml/水100ℓ又はモベントフロアブル 2000倍 収穫7日前 3回 50ml/水100ℓ
- 黒星病・すす斑病 スコア顆粒水和剤 3,000倍 収穫前日 3回 33g/水100ℓ

5月中旬～下旬

- 黒星病・すす斑病 アミスター10フロアブル 1,500倍 収穫前日 3回 66ml/水100ℓ 又は
パレード15フロアブル 2,000倍 収穫前日 2回 50ml/水100ℓ

収 穫

梅酒用：大きい果実から順次収穫し収穫後の直射日光は避けましょう。

漬梅用：青みが抜けた大きいものから順次収穫しましょう。

— 【温州みかん】 *下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。 —

病害虫防除 5月中旬～下旬

○灰色かび病・そうか病

- フロンサイドSC 2,000倍 収穫30日前 1回 50ml/水100ℓ 又は
ストロビードライフフロアブル 3,000倍 収穫14日前 3回 33g/水100ℓ

○コアオハナムグリ モスピラン顆粒水溶剤(劇) 4,000倍 3回 収穫14日前 25g/水100ℓ

そうか病発生園ではフロンサイドSCを散布しましょう。*かぶれには注意しましょう。

夏肥施用 5月下旬

みかん配合 200kg/10a (吸収率を高めるため 6月中旬と2回に分肥すると効果的)

施肥後、軽く中耕します。反射シート被覆のため秋肥が施用できない場合は夏肥を多めにしましょう。

葉面散布 樹勢が低下している樹では尿素600倍を散布し、樹勢の回復を図りましょう。

— 【中晩柑】 *下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。 —

病害虫防除 5月中旬～5月下旬

○灰色かび病 ストロビードライフフロアブル 3,000倍 収穫14日前 3回 33g/水100ℓ

※灰色かび病防除は満開から落弁期にかけて散布します(多発園は2回)

○コアオハナムグリ モスピラン顆粒水溶剤(劇) 4,000倍 収穫14日前 3回 25g/水100ℓ

湘南ゴールド・はるみ(かいよう病に弱い品種) 5月中旬～5月下旬

○かいよう病【単用散布】

コサイド3000 2,000倍 50g/水100ℓ

+ クレフノン 200倍 500g/水100ℓ (薬害軽減のために加用する)

※マシン油散布とは2週間以上あける

湘南ゴールド、はるみ、レモンは、かいよう病に罹病しやすいので薬剤による防除をしましょう。

栽培管理・樹勢強化

葉面散布 5～8月に不知火・はるみの樹勢強化を目的に尿素600倍の葉面散布を行いましょう。

はるみは、着花量が多いと樹勢の低下につながります。

はるみ、不知火は上部1/3～1/4を摘蕾や早期摘果をし、樹勢の強化を図りましょう。

【お茶】

生葉管理

摘採した生葉は、長時間かごや袋につめて茶園に放置すると、品質が悪くなりますので注意しましょう。(日中の気温が高い日等は特に)

更新

樹高が高くなりすぎた園や極端な芽数型の園は、深刈りや中切り更新をしましょう。

【キウイフルーツ】 *下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

病害虫防除

5月上旬 花腐細菌病 環状はく皮

蕾白化期（がく割れ）5月1日頃に主幹に4～5.5mm幅で行いましょう。

5月中旬（開花前）

○カイガラムシ類 アプロードエースフロアブル 1,000倍 収穫前日 1回 100 ml/水100㍓
キウイヒメヨコバイ

摘 蕾 5月上旬～中旬

早期に側花や変形花を除去し、受粉効率と初期肥大を良くさせます。

5月の強風を考慮して花数の調整をしましょう。

人工授粉 5月中旬～下旬

石松子を使った受粉 5～10倍 開花2～3日までに受粉しましょう。

溶液受粉 250～300倍 希釈してから2時間以内に使い切りましょう。

【水 稲】

育苗箱施薬剤

育苗箱施薬は本田への防除軽減のために必要な防除です。必ず散布しましょう。

イネミズゾウムシ
イネドロオイムシ
ウンカ類
ツマグロヨコバイ
いもち病
紋枯病
白葉枯病

エバーゴルフオルテ箱粒剤
播種時（覆土前）～ 移植当日 1回 育苗箱1箱当たり50g

・「いもち病」や初期の害虫、「紋枯病」に高い効果を発揮します。浸透移行性に優れ、長い残効性があります。育苗箱処理でその後の防除が省け、防除回数の低減が可能です。

注) 育苗箱施薬剤と除草剤は区別して保管しましょう。

病害虫防除

水田入水後、貝の活動が活発になり始めたら散布しましょう。

被害発生前に早めに散布するようにしましょう。

○スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）

スクミノン 1～4kg/10a 湛水散布（収穫60日前まで 2回以内）

スクミンバイト3 2～4kg/10a 湛水散布（使用回数・使用時期制限なし）

基肥一発型肥料

速効性肥料と緩効性肥料が入った、追肥のいらぬ省力型肥料です。

生育に合わせ窒素成分が供給されるため、利用効率が高まります。側条施肥にも適しています。

※ただし、天候や生育状況により追肥が必要になる場合もあります。

てまいらず464ネオ・スーパーナイスワン 30～40kg/10a

（栽培条件に応じて適宜増減してください）

キヌヒカリ、さとしまん、はるみ、てんこもりに使用できます。

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。